克明の子

学校通信
令和８年(2026年)10月20日
発行)　　校長　吉川有美子

家庭数

今年度も折り返しました！



秋らしい爽やかな風を感じる季節となりました。

先日の運動会には、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、生き生きとした笑顔で競技や演技に取り組み、これまでの練習の成果を存分に発揮することができました。この経験が、今後の学習や学校生活への自信となり、一人一人の成長につながることを願っています。

また、運動会の開催にあたり、お子様の健康管理や体操服等の準備、前日のテント設営をはじめ、多くのご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申しあげます。

さて、10月も半ばを迎え、今年度も後半に入りました。これからは、各学年・学級において教科学習や「かがやき学習」がさらに深まる時期となります。子どもたちが意欲をもって学び、充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一同、授業の工夫ときめ細かな支援に努めてまいります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

豊中警察による取り組みの紹介～関係機関との連携～

10月15日（木）の朝、豊中警察生活安全課の方が本校の集団登校の様子を視察され、宝山町方面の登校班に同行してくださいました。感想をうかがったところ、「きちんと並び、前を向いて登校できていました。今日は少し緊張していたようですね。」とお話しくださいました。

本校では、今回の視察に加え、これまでも豊中市の取り組みとして、豊中警察ＯＢの方による登校時の見守り活動を定期的に実施していただいています。警察ＯＢの方には、１学期終業式に「夏休みの安全な過ごし方」についてご講話もいただいたことがあります

子どもたちの安全な生活を守るためには、学校・家庭・地域のほかに関係機関の連携が欠かせません。今後も豊中警察をはじめ関係機関との連携を深めながら、安全・安心な学校づくりを行っていきます。

子育て四訓に学ぶ

乳児はしっかり肌を離すな　　幼児は肌を離せ手を離すな
少年は手を離せ目を離すな　　青年は目を離せ心を離すな



これは、子どもの成長に応じて大人の関わり方も変えていくことの大切さを教えてくれる「子育て四訓」です。

子どもは成長するにつれて、自分で考え、自分で判断し、自分の力で歩み始めます。それを嬉しく思う一方で、つい手や口を出したくなることもありますね。でも、子どもの健やかな成長のためには、成長に合わせて見守り方を変え、挑戦を支えることが大切なのでしょう。保護者の皆様には、お子様の成長を信じ、どのような時も「あなたの味方だよ。」という心だけは離さずにいただければと思います。学校もまた、ご家庭と歩調を合わせながら、子どもたち一人一人の成長を支えてまいります。



【運動会の思い出】
～感動の嵐を　ありがとう！











